

Title	語文 第69輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1997, 69
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/68922">https://hdl.handle.net/11094/68922</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 編集後記

第六十九輯をお届けする。会員からの御投稿を掲載することができたのは喜ばしいことである。大学院生二人の論は、いずれも修士論文の一部を基にしたものである。大学は変動の時期であるが、着実な研究が学会を活性化するものと、改めて思われる。

恒例一月十五日の国語国文学会総会には、また多数御参集いただいたが、それにつけても、昨年度総会で御講演いただいた清原和義氏がこの六月に急逝されたのは、何とも残念なことであった。今輯の内容が、国語学三篇、国文学一篇という形になっているのも、そのことと無関係ではない。

若い会員の亡くなられたことも聞き及んでいる。今年は例年より寒暖の差が激しいように思われ、また、どの勤めも大変なことが多いであろうが、会員諸氏の御健康を切にお祈り申し上げる。

次輯は第七十輯。また、文学部も五十周年を迎えようとしている。いろいろお願いすることもあると思われるが、どうぞよろしく御協力下されたい。

(蜂矢真郷)

## 語文 第六十九輯

平成九(一九九七)年十一月二十五日 印刷  
平成九(一九九七)年十一月三十日 発行

編集・  
発行者

大阪大学国語国文学会

〒560 大阪府豊中市待兼山町一―五

大阪大学文学部国語学国文学研究室

代表 後藤昭雄

振替口座〇〇九四〇―四―二四六四一

電話 (〇六) 八五〇―五一―一

印刷 天理時報社